

山本かずひと



令和6年度文京区決算の速報値



今月の主な区政報告は、過日令和6年度における文京区の各会計の歳入歳出決算の速報値についてです。毎年この時期に前年度の決算が確定し議会に公表されます。先ず、一般会計の歳入済額は144,022,953千円で、それに対する歳出済額は135,937,868千円となり差引額（決算剰余金）が、8,085,085千円となりました。よって、地方財政法により、決算上預金の半分が財政調整基金に、もう半分が翌年度に繰り越されることとなりました。またも過去最高決算額となりました。また、財政の根幹を成す特別区税については、40,769,349千円と前年度に続き400億を突破致しました。特に課税標準額が1,000万円を超える世帯が増加傾向にあるのが主な要因とされております。因みに、23区における区民税の一人当たりの負担額の順位としては、高い順に港区（355）、千代田区（307）、渋谷区（276）、中央区（201）、目黒区（180）、そして文京区（170）千円の順になります。尚、決算が確定したことで、各項目別における詳細については、9月議会の決算審査特別委員会の集中審議で議論されることとなりますので、お金の使い方、政策や事業に対するご意見等がございましたら、お寄せ頂ければ幸いです。※写真は、文京区花の5大まつりの一つ、文京朝顔・ほおずき市が伝通院他で開催されたものです。

令和7年度文の京日本語サポート事業について

この度文京区では、近年、区立小・中学校における外国人の児童等が増加している環境に鑑みて、日本語の習得、学校及び日常における生活・習慣への適応を支援することにより、学習環境を改善し社会生活を円滑に営むことが出来る能力の育成に資するべく、これまで各学校で実施している日本語指導員サポートに加え、新たに日本語サポート教室として、「日中学院」と「アジア文化会館」にて主に中国語を母語とする児童等を対象に、概ね17時～18時30分を週に2回、一カ月を1期として、必要に応じて最長で3期受講することが出来る、日本語サポート事業を10月より開始いたします。「日中学院」では、定員が40名で中国語を母語とする児童・生徒が対象、また「アジア文化会館」では、定員が20名で中国語及びアジア圏を母語とする生徒が対象となります。指導内容としては、日本語の指導の他、学校及び日常における生活・習慣への適用指導となりますが、アジア文化会館では当面の間日本語指導のみとなります。

文京区立中学校部活動地域移行実施計画2026（素案）に関する

意見募集のお知らせ

この度文京区教育委員会では、国の指針に基づき、休日における中学校部活動の地域移行について、区の実施計画の素案が策定され、議会でも議論が交わされましたが、ここで更に区民の皆様からのご意見を頂戴するべく、8月1日～9月1日まで意見募集を行いますので、是非ともこの機会に区のホームページよりフォーマットに合わせてご意見をお寄せ下さい。教員の働き方改革の一環でもあることは理解しますが、当事者の不安や混乱を招かないよう、万全な体制で準備を進めるべく、引き続き議会で発言して参りますので、ご意見ご要望等、私にも頂ければ幸いです。今後のスケジュールと致しましては、・令和8年～9年度 休日における合同部活の実施（新たな種目の合同部活も含む） ・令和10年～12年度 休日における地域クラブ活動の実施 ・令和13年以降 平日・休日ともに地域クラブ活動の実施、となります。